

一般社団法人 日本感覚統合学会

～子どもの豊かな発達を支援する～



一般社団法人日本感覚統合学会は、感覚統合理論の
実践およびその正しい啓発、研究に作業療法士を
中心として取り組んでいる学際的団体です。

日本感覚統合学会が大切にしていること

○私たちは支援に際して、相手の笑顔や喜び、興味、能動性、そして達成感に価値を置きます。

（ですから、自分の都合のいいように相手を操作したり、力や権威にまかせて活動を押し付けたり、ましてや相手を蔑んだり、非難したり、叱責したりすることを強く戒めます）。

○私たちは、子どもの行動の背景にある神経学的、心理学的意味について、現在持てる限りの知識を生かしながら理解しようとしています。

（ですから、現在私たちが手にしている科学的知識の限界も理解しつつ、常に最新の知識や知見、心ある人々の考えを学び続けます。そして何よりも目の前の困っている方々から真摯に学んでいきます）。

○私たちは、子どもが、そして子どもたちを支える多くの人たちが、互いに信頼しあいながら各々の主体的な生き方と各々の存在の価値を尊重し合い、皆が豊かに生き生きと自信を持って生きることを大切にします。



家庭や保育園、学校などで活かす感覚統合の考え方

感覚統合理論からみると、遊びは子どもの自分育ての大切な活動です。

「楽しいこと」、「成功体験」、「能動性」、「豊かな感覚体験」が遊びの中にはたくさん含まれており、これらの要素が脳機能を育てる大切な原則でもあるのです。

センサーダイエットとは？

同じ経験をしていても、感覚情報の処理のされ方は人によって異なり、感覚刺激にとっても敏感な人や逆にわかりにくい人もいます。

そこで日常生活に溢れる感覚情報から避けようとする人もいれば、逆にたくさんの強い感覚情報を必要とする人もいるのです。

このような個々人の特性を理解して、それにあつた感覚刺激の量を日常生活の中で、遊びや趣味、手伝い、仕事の形で取り入れ、脳を健康に保つ工夫を「センサーダイエット」と呼びます。

また人が何気なく行っている癖や行動には、脳が必要としている感覚栄養を積極的に取り入れて補おうとしたり、不安定な神経をなだめようとする意味が隠されていることもあります。このように、人が無意識に行っている行動にも大切な意味があるかもしれないのです。

感覚統合療法を受けるためには？

感覚統合機能に課題を抱える子どもたちは、社会の中で生きていく上で様々な困難を抱えやすく、大人はこのような子どもの困り感に早くから気付くこともあります。しかし、多くはそれが感覚統合機能と関係するとは理解されていないのが現状です。そのため、注意・叱責が多くなってしまったり、無理に苦手なことを訓練しようとするなど、結果として子どもを傷つけてしまう対応をしがちです。まずは子どもの行動の意味を正しく理解し、適切な支援を早い時期から行うことが大切です。

しかし感覚統合の知識を正しく持った専門家はとても少ないのが現状です。学会のホームページにアクセスし、地域の感覚統合療法の認定を受けたセラピストの紹介を受けることをお勧めします。

*近年正式なトレーニングを受けていないにも関わらず「感覚統合療法」を標榜する所が増えています。指導者のトレーニング歴や認定証の有無を必ずご確認ください。



感覚統合理論とは

感覚統合とは、人が自分の体や環境からの感覚情報を整える神経学的過程を意味します。ですから、「落ち着きがない」「情緒が不安定」「学習がうまくいかない」など人の行動や情緒、学習の課題を、脳の情報処理機能の視点から理解（評価）し、その発達を支援しようとするものです。

対象は、限局性学習症や注意欠如・多動症、自閉スペクトラム症、発達性協調運動症など、学習や行動、協調運動の発達に困り感を持つ子どもたちが中心ですが、その理論と実践の原理は、一般の育児や保育、教育にも活かすことができます。

「**感覚統合療法**」の用語は、正式なトレーニングを受けたセラピストによって専門的なセラピーとして行われる場合に用いられますが、一般の保育や療育で行われる場合は「**感覚統合理論の考え方を活かした保育**」等と表現されます。

この理論を理解することで、子どもの理解や関わりかたが大きく変わることを願っています。



学会主催講習会のご案内

JMAP 講習会 (2日間)

専門職向け認定講習会

教師・保護者等多職種向け入門講習会

A(基礎・評価)コース (9日間)

基礎コース (1~2日間)

B(解釈)コース (9日間)

体験コース (2日間)

C(治療)コース (9日間)

実践コース (2~3日間)

*アドバンスコース (3日×2)

ミニ実践コース (2日間)



一般社団法人日本感覚統合学会事務局

〒732-0828 広島県広島市南区京橋町8-10青木ビル 202

事務局長 新庄 玉恵

詳細は学会ホームページをご覧ください。

<http://si-japan.net/>

